

「平成27年度防災視察研修会」を開催しました。



国会衆議院見学



東京臨海広域防災公園 そなエリア東京での防災体験学習



- ＜実施日＞ 平成28年3月25日(金)
- ＜実施場所＞ 国会衆議院、東京臨海広域防災公園 そなエリア東京
- ＜参加人数＞ 37名が参加
- ＜視察内容＞ 国会衆議院内及び衆議院本会議場等の見学
そなエリア東京でのタブレット端末を使用した防災体験と防災学習

東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park

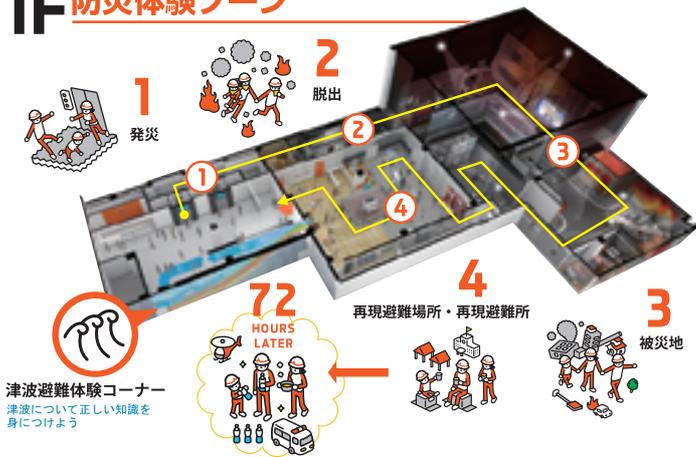


入場無料

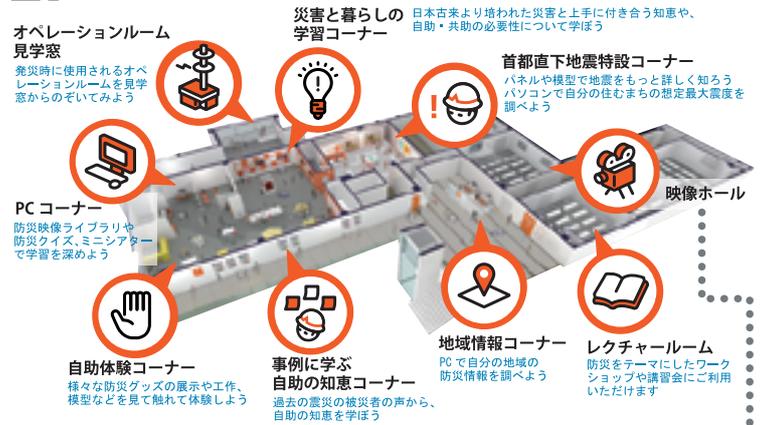
そなエリア東京

防災体験学習施設

1F 防災体験ゾーン



2F 防災学習ゾーン



東京直下72h 地震発生後72時間の生存力をつける、体験学習ツアー

タブレット端末を使って「防災クイズ」に挑戦、「AR体験」で危険箇所を確認。音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、タブレット端末を使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。街の映画館では首都直下地震の再現CG映像を上映しています。

映像ホール

メッセージ映像空間

大型プロジェクターによる映像ホール。2009年にフジテレビほかにて放送されたアニメ「東京マグニチュード8.0」を、この施設用に再構成した「東京マグニチュード8.0～東京直下72h～」を上映いたします。

東京マグニチュード8.0

東京直下72h TOUR



tokyo-m8.com

★ 防災体験学習施設「そなエリア東京」

そなえる+エリアの造語。「ここでの体験と学習を通じて、「災害をイメージする力」と「対応力」を身につけることで、災害への備えにつながる場所」を意味しています。



そなエリア東京

防災体験学習施設

東京直下
72h
TOUR



もしここで大地震がおきたら...

国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間といわれています。

72時間、どう生き残るか?

「東京直下72h TOUR」は、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発災から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。



「東京直下72h TOUR」に参加してスタンプを押そう!

東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地对策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。

※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用できません。

平常時には、花と緑があふれる国営公園 (6.7ha) と都立公園 (6.5ha) が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、休憩・休息の場として広くお客様に使って頂ける公園です。公園外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たりながら、季節感を感じることもできる、心地よい空間です。広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。



フェイスブックも随時更新中!
www.facebook.com/sonaarea

交通アクセス



ご利用案内

【東京臨海広域防災公園】

- 開園時間 午前6時～午後8時 (12/31～1/1 休園)
- 入園料 無料

【そなエリア東京】～防災体験学習施設～

- 利用時間 午前9時30分～午後5時 (入場は午後4時30分まで)
- 休園日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館) ※年末年始及び臨時休園日があります
- 入場料 無料

【ご利用に関するお問合せ】

東京臨海広域防災公園 管理センター
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
TEL: 03-3529-2180 FAX: 03-3529-2188
(運営管理: 西武造園・NHKアートパートナーズ)

最寄駅

りんかい線 → 「国際展示場駅」より徒歩約4分
ゆりかもめ → 「有明駅」より徒歩約2分
※当施設に駐車場はございません